



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月12日

東

上場会社名 カバー株式会社

上場取引所

コード番号 5253

URL <https://cover-corp.com>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）谷郷 元昭

問合せ先責任者（役職名）取締役CFO

（氏名）金子 陽亮

（TEL）03(6280)4036

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	8,825	△8.3	651	△33.0	598	△35.8	415	△40.1
2026年3月期第1四半期	9,629	50.1	972	16.5	932	1.6	693	11.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	6.38	6.25
2026年3月期第1四半期	10.57	10.35

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	28,088	17,379	61.9
2026年3月期	34,908	19,964	57.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 17,378百万円 2026年3月期 19,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,270	2.4	1,930	△27.6	1,930	△27.8	1,350	△32.5	20.56
通期	51,350	4.1	7,000	△0.8	7,000	△1.0	4,900	62.4	74.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 予想1株当たり当期純利益は、予想当期純利益を2026年3月期末の発行済普通株式数(自己株式除く)で除して算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	65,650,100株	2026年3月期	65,650,100株
2027年3月期1Q	1,879,784株	2026年3月期	84株
2027年3月期1Q	65,130,949株	2026年3月期1Q	65,650,016株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、ミッションとして「つくろう。世界が愛するカルチャーを。」を掲げ、日本発のエンターテインメント・カルチャーを作り出し世界中のユーザーに広めていくことにより、日本のユニークな強みであるアニメ、ゲームといった文化に関わるクリエイターの活動の場を増やしていくことを目指しております。

第1四半期においては、ライブ/イベントおよびライセンス/タイアップ分野の収益が前年同期を上回って推移いたしました。一方、過年度との比較においては、タレント構成やコミュニティ環境の変化、トレーディングカード分野における新商品の販売スケジュールおよび商品構成の差異に加え、EC商品の製造・販売オペレーションの移行過程において商品の欠品や品揃え不足が生じたことなどにより、配信収益およびマーチャンダイジング収益が前年同期を下回りました。これらの結果、当第1四半期の売上高は前年同期比で減収となりました。

また、当社は現在を持続的な成長に向けた基盤強化を進める投資期と位置づけ、タレント価値の継続的な創出を支える事業基盤および組織体制の整備を進めております。これに伴い、固定費が先行して増加し、一時的に固定費比率が上昇したことから、当第1四半期の営業利益率は前年同期を下回りました。

サービス分野別の業績は、以下のとおりです。

配信/コンテンツ分野におきましては、タレント構成やコミュニティ環境の変化を背景に、配信関連指標の軟化が見られた一方で、所属タレントによる多様な配信活動の進展や新興タレントの台頭が底堅い実績推移を支えました。また、中長期的なプロダクションの成長に向け、次世代タレント育成プロジェクト「mekPark」を始動し、新たに2ユニットが活動を開始いたしました。その結果、同分野の売上高は2,092百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

ライブ/イベント分野におきましては、秘密結社holoX初のオフラインライブ『秘密結社holoX Live 2026 「First MISSION」』や獅白ぼたん主催の大規模ゲームイベント「獅白杯」初のオフライン開催など、所属タレントによるライブコンサートやイベントを複数開催したことに加え、過去に開催したライブコンサートに係る映像商品の販売が伸長したことが寄与いたしました。その結果、同分野の売上高は908百万円（同109.6%増）となりました。

マーチャンダイジング分野におきましては、ホロライブプロダクションの公式店舗「hololive production official shop in Harajuku」を原宿へ出店するなど、新規および既存のファン層への接点拡大と販売チャネルの多様化に取り組みしました。一方で、過年度との比較においては、トレーディングカード分野における新商品の販売スケジュールおよび商品構成の差異に加え、卒業タレントの関連商品売上の剥落、ならびにEC商品の製造・販売オペレーションの移行過程において商品の欠品や品揃え不足による機会損失が生じたことなどから、前年同期比では減収となりました。その結果、同分野の売上高は4,546百万円（同22.1%減）となりました。

ライセンス/タイアップ分野におきましては、国内大手クライアントとのコラボレーション案件を通じてブランド露出の拡大が進展したことに加え、北米、東アジア地域を中心とした海外クライアントとの取引拡大が売上を牽引いたしました。その結果、同分野の売上高は1,279百万円（同8.2%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は8,825百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益は651百万円（前年同期比33.0%減）、経常利益は598百万円（前年同期比35.8%減）、四半期純利益は415百万円（前年同期比40.1%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末より6,819百万円減少し、28,088百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少4,129百万円、売掛金の減少3,270百万円及びソフトウェア仮勘定を中心とする無形固定資産の増加528百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末より4,235百万円減少し、10,708百万円となりました。これは主に、買掛金の減少1,568百万円、未払法人税等の減少1,355百万円、前受金の減少705百万円及び賞与引当金の減少327百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末より2,584百万円減少し、17,379百万円となりました。これは、自己株式取得による減少2,999百万円及び利益剰余金の増加415百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期戦略として、①VTuberビジネスの確立、②IPビジネスへの進化、③クリエイター経済圏の拡大の3段階の事業戦略を定めております。これらに沿って内製での事業開発、外部企業との戦略的パートナーシップ、またはM&A等により能力拡充を図り、持続的な成長を目指してまいります。

2027年3月期の業績見通しにつきましては、2026年5月14日に発表した通期業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,008	11,879
売掛金	5,890	2,619
商品	958	1,231
前払費用	564	609
未収入金	1,403	1,275
その他	317	322
貸倒引当金	△33	△19
流動資産合計	25,108	17,918
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	2,317	2,280
工具、器具及び備品（純額）	1,659	1,582
建設仮勘定	-	15
有形固定資産合計	3,977	3,878
無形固定資産		
特許権	72	76
商標権	118	117
ソフトウェア	838	885
ソフトウェア仮勘定	968	1,446
無形固定資産合計	1,998	2,526
投資その他の資産		
関係会社株式	146	146
投資有価証券	77	77
出資金	113	150
差入保証金	1,141	1,186
関係会社長期貸付金	20	59
繰延税金資産	2,231	2,056
その他	94	88
投資その他の資産合計	3,824	3,765
固定資産合計	9,799	10,170
資産合計	34,908	28,088

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,750	1,182
未払金	703	1,038
未払費用	556	654
未払法人税等	1,357	2
前受金	6,758	6,053
預り金	141	166
賞与引当金	545	218
諸外国間接税引当金	287	277
その他	811	82
流動負債合計	13,913	9,675
固定負債		
資産除去債務	1,031	1,033
固定負債合計	1,031	1,033
負債合計	14,944	10,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,096	1,096
資本剰余金		
資本準備金	1,093	1,093
資本剰余金合計	1,093	1,093
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	17,772	18,188
利益剰余金合計	17,772	18,188
自己株式	△0	△3,000
株主資本合計	19,963	17,378
新株予約権	0	0
純資産合計	19,964	17,379
負債純資産合計	34,908	28,088

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,629	8,825
売上原価	4,722	4,332
売上総利益	4,907	4,493
販売費及び一般管理費	3,935	3,841
営業利益	972	651
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	-	9
受取和解金	-	9
その他	1	2
営業外収益合計	1	21
営業外費用		
為替差損	41	-
支払手数料	-	8
支払和解金	-	53
その他	0	12
営業外費用合計	42	74
経常利益	932	598
特別損失		
固定資産除却損	21	0
特別損失合計	21	0
税引前四半期純利益	910	597
法人税、住民税及び事業税	206	7
法人税等調整額	10	174
法人税等合計	217	182
四半期純利益	693	415

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2026年4月1日 至2026年6月30日)
減価償却費	337百万円	209百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、当第1四半期累計期間において、2026年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の公開買付けを実施した結果、自己株式が1,879,700株(2,999百万円)増加しました。

この結果、当第1四半期会計期間末において自己株式が3,000百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、VTuber事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、記載を省略しております。